

施策分析シート（平成24年度）

No1

施策名	高齢者の社会参加の促進	施策No	02-01	部課名	福祉部高齢者福祉課		
				課長名	伊藤 内線 2660		
関連部課名	区民生活部地域振興課						
行政評価事業体系	分野	生涯健康都市[]					
	政策	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成[02]					
目的	高齢者に対する就労等の支援を行うとともに、ボランティア活動や趣味による交流等を通じて社会参加を促進することにより、高齢者が生きがいを実感し充実した生活を送れることを目的とする。						
指 標	施策の成果とする指標名	指標の推移					
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (28年度)	指標に関する説明
	高年者クラブ加入率	14.20%	13.66%	12.91%	13.50%	20.00%	会員数 / 60歳以上人口
	シルバー人材センター就業率	75.9%	76.4%	75.8%	76.0%	83.3%	就業実人員 / 会員数
	シルバー大学受講者数	1,222	1,315	1,387	1,416	1,500	4月1日現在の受講登録者数
現状と課題 (指標分析)	<p>荒川区の高齢者人口は、平成23年には44,102人（高齢化率21.47%）であるが、平成26年には47,845人（高齢化率22.76%）になると見込まれている。</p> <p>平成27年には団塊の世代がすべて65歳以上となるとともに、東京都によると区部の総人口は平成32年にピークを迎え、その後減少に転じると予測されている。</p> <p>高齢者が生きがいや活力を実感し、充実した生活を営むことができるよう、生涯学習や地域における活動、社会参加の機会の充実を図る必要がある。</p> <p>シルバー人材センターの就業率は横ばい状況であり、団塊世代を取り込めるよう受託業務を増やすこととあわせて、業務内容の質の向上も図る必要がある。またボランティアセンター「ふらっとフラット」での団塊世代の就業も含めた地域活動の支援が必要である。</p> <p>高齢者実態調査（平成23年実施）から、高齢者の半数近い方が地域活動に参加していない状況であるが、祭りや地域のイベントには参加しやすい状況にあることがわかった。</p>						
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>団塊の世代に対して、企業等を退職した後の就業の機会を提供していくとともに、多彩な仕事を紹介できるよう、シルバー人材センターの受注機能の強化を支援していく。</p> <p>生きがいや趣味をもって生き生きとした生活が送れるよう、早い段階からコミュニティカレッジやシルバー大学への参加を促していくとともに、各自が65歳以降のライフプランニングを立てるよう支援していく。</p> <p>70歳以上の人には、地域の活動に参加してもらえるよう趣味を通じた仲間作りをする機会を設けていく。</p> <p>ひろば館については、踊りやカラオケなど、高齢者の生きがいづくりのための事業を継続するとともに、順次整備されているふれあい館においても、関係者と調整を図りながら、高齢者事業を積極的に展開していく。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
推進	推進	高齢者が地域の中で生きがいを持って生活できるよう、個々のニーズに即して就労支援や生涯学習の推進を図っていく。

